

★輝いています

ひぐちりょう
樋口諒さん（古井町）



「ロードレースがいいですね。景色が変わって気持ちよく走る事ができるので。だから駅伝も大好きです」

昨年の全日本中学校陸上3000mで3位。先月の都道府県対抗駅伝にも県代表で出場。

昨年8月に京都で行われた、全日本中学校陸上男子3000mに出場し、第3位に入賞した安祥中学校3年の樋口諒さん。「最後に2年生に抜かれました。勝てると思ったので、うれしいより悔しい気持ちの方が強いです」と快挙にもかかわらず、冷静に振り返ります。

「球技が苦手だったから」となんとなく始めた長距離走。昨年になって、めきめきと頭角を現し、各大会で好成績を収めるようになりました。

練習は毎日5kmから10kmぐらい。さらに家に帰ってから走ることもあるそうです。「速くなりたいですからね。やっぱり走ることが好きなんだと思います」。

好成績が認められ、先月の全国都道府県対抗男子駅伝にも愛知県代表として出場。「箱根駅伝を見ると、将来、出てみたいと思ったりもします。でも、とりあえず今は目の前の駅伝でがんばることしか、頭にありません。あまり先のことは考えてないです」と語る樋口さん。「テレビに映るかも知れないですね」という問いにも「走っている間はとても集中しているので、そんなことを考えている余裕はありませんよ」と笑顔で話してくれました。



野草歳時記

143



アゼムシロ

【畔薺 キキョウ科】



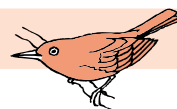
田のあぜに生えるので畔薺、また溝にも多いので溝隠しともいいます。桜色の花は、野の花とは思えぬほど明るく、それを田のあぜに敷く花薺に例えたものと思われます。

花は1cmぐらいの小さいもので、一風変わった形をしています。また、茎はムシロの名があるように、地面をはっています。同じキキョウ科のサワギキョウとは、共通性がある、比べてみると面白いです。

写真・文／三井亨氏＜城ヶ入町・安城市文化財保護委員＞

安城の野鳥

166



主に冬鳥として渡来し、市内では油ヶ淵で観察されていますが、観察記録は多くありません。カイツブリによく似ていますが、くちばしがわずかに反り上がり、ヘルメットをかぶったような丸い頭と、ルビーのような赤い目が特徴です。えさである小魚を捕るためによく水に潜るので、じっくり観察する機会がないのが残念です。夏羽になると目の後ろから黄金色の飾り羽が生えてきて、とてもきれいになります。



ハジロカイツブリ

—カイツブリ科—

写真・文／杉山時雄氏＜桜井町・西三河野鳥の会会員＞